

名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター
令和元(平成31)年度事業実績



社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒462-8558 名古屋市北区清水4丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館内

電話 (052) 911-3180
FAX (052) 917-0702

目次

ボランティアセンターの運営

1	ボランティア活動に関する相談・情報提供等	2
2	ボランティア活動拠点・活動資器材の提供	5
3	ボランティア情報の収集・発信	6

ボランティア活動の支援・振興

4	ボランティア意識・活動の啓発	8
5	ボランティアの学習の場づくり	9
6	企業の社会貢献活動・勤労者のボランティア活動の支援	11
7	助成事業等の情報提供及び団体の推薦等	12
8	ボランティア活動に関する顕彰への推薦等	14
9	市域ボランティアネットワーク組織の支援	15

地域福祉活動・ボランティア活動の担い手・しくみづくり

10	福祉教育・ボランティア体験学習の推進	20
11	災害ボランティア活動の推進	25
12	地域福祉リーディングモデル事業	30

区社会福祉協議会ボランティアセンターの支援

13	市・区社協ボランティアセンターの機能強化	33
----	----------------------	----

他の市民活動推進機関との連携、ボランティア活動に関する調査・研究

14	他機関との連携・協力、ボランティア活動に関する調査・研究	34
----	------------------------------	----

資料編

1	ボランティアセンターのあゆみ	35
2	所管事業名称等一覧表	40

1 ボランティア活動に関する相談・情報提供等

1 窓口等でのボランティア活動相談・連絡調整等

(1) 相談総件数 644 件 (市社協のみ)

(内訳)

- ・ボランティアの依頼に関する事 154 件
- ・ボランティア活動希望に関する事 46 件
- ・ボランティア保険に関する事 174 件
- ・講座等の情報に関する事 14 件
- ・福祉教育に関する事 11 件
- ・災害ボランティア等に関する事 45 件
- (東日本大震災V.Cなごや関係も含む)
- ・その他ボランティア活動一般 200 件

広域的ニーズと活動希望者の
需給調整
視覚障がい者ガイドボランティア等

(2) ボランティア活動保険・行事用保険の加入受付 (市社協受付分のみ)

活動保険	行事用保険			
	総数	日帰り行事(A型)	日帰り行事(B・C型)	宿泊行事
(人)	(件)	(件)	(件)	(件)
7,364	69	69	0	0

(3) ボランティアの依頼の内訳

依頼内容	依頼件数	対応件数
・日常生活支援(継続)	3 件	3 件
・日常生活支援(随時)	4 件	4 件
・見守り・話し相手・孤立防止	1 件	1 件
<hr/>		
・移動・外出	127 件	70 件
・社会参加・交流	1 件	1 件
・趣味・教養	2 件	2 件
・施設ボラ運営系	1 件	1 件
・施設ボラ披露系	10 件	10 件
・その他	5 件	4 件

2 ボランティア登録制度

本会とでは、ボランティア活動を希望する、または活動を行っている個人や団体の登録を受け、ボランティア活動に関する情報提供や、需給調整(コーディネート)等に活用している。

市社協と各区社協では、共通の登録制度・情報管理システムを導入し、市内のボランティア登録者・団体の情報を共有・活用している。

(参考) 名古屋市内の社協登録ボランティア数

	グループ人数 (団体数)	個人登録者	合計(人)
登録人数	83,279 (2,410)	1,827	85,106

社協別内訳は下記のとおり

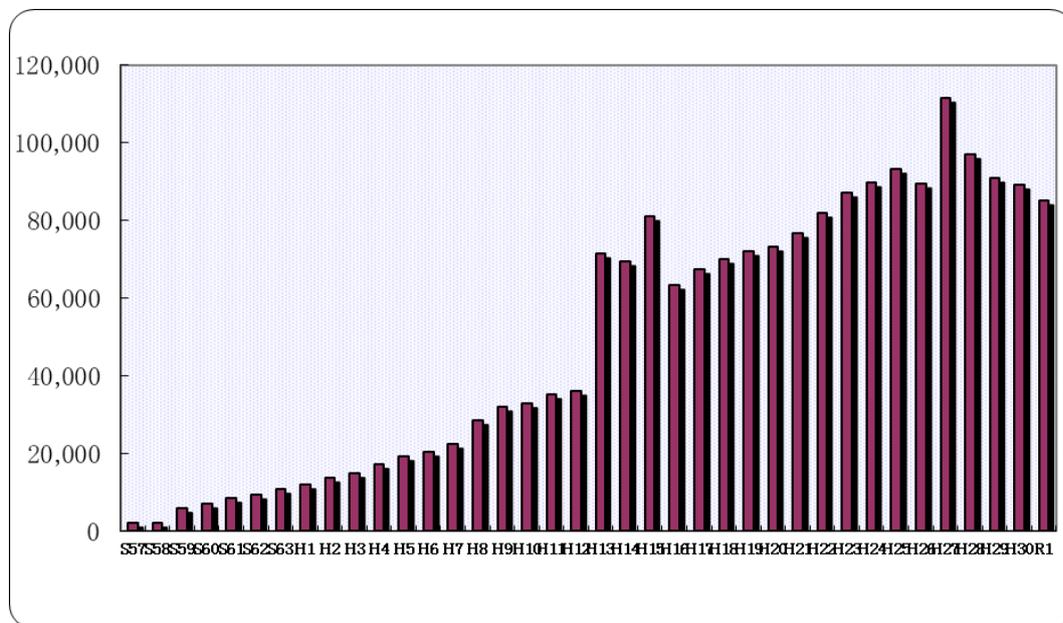
(参考) 区別ボランティア登録者数 (令和2年3月31日現在)

登録種別	①グループ数 (団体)	②グループ人数 (人)	③個人登録者 (人)	④登録人数合計 (②+③人)	
登 録 区	1 千種	98	3,296	85	3,381
	2 東	114	2,785	68	2,853
	3 北	131	2,181	78	2,259
	4 西	152	6,271	100	6,371
	5 中村	117	5,053	72	5,125
	6 中	174	11,539	108	11,647
	7 昭和	136	4,413	86	4,499
	8 瑞穂	125	4,488	70	4,558
	9 熱田	78	1,586	92	1,678
	10 中川	128	2,043	62	2,105
	11 港	110	3,627	79	3,706
	12 南	194	3,646	117	3,763
	13 守山	184	4,821	71	4,892
	14 緑	205	5,944	188	6,132
	15 名東	127	5,992	183	6,175
	16 天白	199	4,136	291	4,427
	17 市	138	11,458	77	11,535
合計	2,410	83,279	1,827	85,106	

※「17 市」とは各区社協の登録とは別に名古屋市社協に登録しているグループ及び個人

ボランティア登録者数（名古屋市・区社協登録）の推移

年度	個人登録 登録人数 (A)	グループ登録〔人〕		合 計〔人〕 (A+B)	前年度比較	
		グループ数	登録人数 (B)		増△減	前年比
S57				1,922	-	-
S58				2,134	212	111.0%
S59				5,855	3,721	274.4%
S60				7,044	1,189	120.3%
S61				8,542	1,498	121.3%
S62				9,220	678	107.9%
S63				10,640	1,420	115.4%
H1				11,888	1,248	111.7%
H2				13,619	1,731	114.6%
H3				14,912	1,293	109.5%
H4				17,026	2,114	114.2%
H5				19,051	2,025	111.9%
H6				20,297	1,246	106.5%
H7	1,134	763	21,241	22,375	2,078	110.2%
H8	1,221	809	27,381	28,602	6,227	127.8%
H9				31,888	3,286	111.5%
H10	1,519	941	31,315	32,834	946	103.0%
H11	1,632	986	33,603	35,235	2,401	107.3%
H12	1,965	1,018	33,947	35,912	677	101.9%
H13	1,740	933	69,565	71,305	35,393	198.6%
H14	999	1,063	68,303	69,302	△ 2,003	97.2%
H15	1,245	1,280	79,835	81,080	11,778	117.0%
H16	1,224	1,365	62,156	63,380	△ 17,700	78.2%
H17	1,216	1,416	66,259	67,475	4,095	106.5%
H18	1,511	1,489	68,397	69,908	2,433	103.6%
H19	1,541	1,493	70,382	71,923	2,015	102.9%
H20	1,526	1,525	71,546	73,072	1,149	101.6%
H21	1,436	1,630	75,282	76,718	3,646	105.0%
H22	1,509	1,693	80,395	81,904	5,186	106.8%
H23	2,538	1,917	84,466	87,004	5,100	106.2%
H24	2,911	1,612	86,721	89,632	2,628	103.0%
H25	3,104	2,107	90,149	93,253	3,621	104.0%
H26	2,975	2,095	86,562	89,537	△ 3,716	96.0%
H27	3,264	2,551	108,272	111,536	21,999	124.6%
H28	2,772	2,592	94,182	96,954	△ 14,582	86.9%
H29	1,901	2,378	88,889	90,790	△ 6,164	93.6%
H30	2,191	2,541	86,965	89,156	△ 1,634	98.2%
R1	1,827	2,410	83,279	85,106	△ 4,050	95.5%



2 ボランティア活動拠点・活動資器材の提供

1 活動拠点（市総合社会福祉会館6階ボランティアセンター）の概要

(1) グループ活動室《予約不要》

- 面積：66㎡
- 目的：ボランティア活動に関する印刷その他軽易な作業、簡単な打ち合わせ等
- 設備：作業台及び小規模打合せスペース（6名程度）
登録ボランティア向け印刷機 1台（利用料必要）
登録ボランティア向け貸しロッカー

(2) 多目的活動室《要予約、部屋は東西分割可》

- 面積：133㎡
- 目的：登録ボランティアの会合・研修・作業のための部屋
- 定員：40名（東・西各20名）
- 設備：東・西とも長机8本・いす20脚・ホワイトボード2台
VHSビデオデッキ付テレビ1台（東のみ）

(3) 点訳室《要予約》

- 面積：40㎡
- 目的：点訳ボランティアが点訳作業・点字印刷作業を行う部屋
- 定員：約10名
- 設備：点訳パソコン+点字プリンタのセット4台（Windows、MS-DOS）

(4) 録音編集室《要予約》

- 面積：20㎡（録音室2室）
- 目的：朗読ボランティア等が視覚障がい者等向けのテープ・CDを録音・ダビングする部屋
- 設備：A室：テープ録音デッキ・ダビング装置一式
B室：CD録音用パソコン・CDダビング装置一式

(5) トレーニングルーム《年間の使用申請が必要》

- 面積：273㎡
- 目的：非営利団体による障がい者や高齢者を対象とした療育指導やリハビリ指導、乳幼児を対象とした育児指導などを行う部屋
- 設備：カーペット敷き（机・いす等はなし）

令和元年度 各活動室利用状況

区分	多目的活動室	グループ活動室	点訳室	録音編集室	トレーニングルーム	計
利用件数(件)	455	104	181	65	400	1,205
利用人数(人)	5,247	239	836	419	9,831	16,572

3 ボランティア情報の収集・発信

1 市社協広報誌「ふれあい名古屋」の「ほっとはあとコーナー」の編集

(1) 経緯

昭和59年からボランティア情報誌「ほっとはあと」の発行を開始、平成18年に市社協広報誌「ふれあい名古屋」と統合し、以後、同誌内の「ほっとはあとコーナー」にて情報を掲載

(2) 発行回数

年4回（4月号、7月号、10月号、1月号）

(3) 発行部数

12,000部

(4) 編集方法

編集・取材ボランティア「ほっとはあとクラブ」との共同編集

(5) 主な配布先

市・区社会福祉協議会登録ボランティアの他、民生委員、図書館、小・中・高校・大学、区役所、本会会員の福祉施設等

(6) 主な内容

・旬ボラを行く！

地域課題等に取り組むボランティアの方々に地域への想いや活動についての記事

・ボランティア・NPO ウォッチング

ボランティア・NPO 団体の紹介

・きらっとボランティア・NPO らいぶ

きらっと光るボランティア・NPO 活動者へのインタビュー記事

・なごボラヒストリー～こうしてボランティアは生まれた！～

名古屋のボランティア団体、ボランティア活動を進めてきた実践者の方から、団体誕生やボランティアをはじめた経緯や今までの活動等について紹介する記事

・ボランティア豆知識

ちょっとしたボランティアの豆知識を紹介する記事

・ほっとはあとメンバーのつびやき

編集ボランティア等の福祉に関するつびやき

2 名古屋市・区社協登録ボランティア団体情報検索システム「なごやボラねっと」

市社協もしくは16区社協にボランティア登録している団体のうち、情報公開を希望する団体の情報をインターネットで検索・表示できるシステムを、特定非営利活動法人ボラみみより情報局のシステム提供により開設している。平成29年度には、スマートフォン及びタブレット対応に仕様変更。

(1) 開設日 平成22年2月1日

(2) URL http://www.mimiline.jp/nagoya_svc/

(3) 情報公開団体数

1,094団体（令和2年3月31日現在）

3 「名古屋市社会福祉協議会 Facebook（フェイスブック）」

ボランティア等に関する情報や開催行事報告、ボランティア等が申請できる助成金情報などを随時掲載。

URL : <https://www.facebook.com/shakyonagoya>

4 「なごや福祉ボランティア募集情報」

市社協および16区社協において、区内福祉施設やボランティア団体よりボランティアニーズを聞き取り、ボランティア募集情報としてとりまとめ、冊子化している。

(1) 発行回数

年3回（令和元年6月、10月、令和2年2月）

(2) 配架先

16区社協、名古屋市市民活動推進センター、大学等

※その他、本会ウェブサイトにもPDFデータを掲載

(3) 掲載募集情報数

333（令和2年2月号 実績）

4 ボランティア意識・活動の啓発

1 ボランティアセンターPRパンフレットの発行



<内容>

- ・ボランティア・市民活動とは
- ・ボランティア活動を始める前の知っておきたい心がまえ 10カ条
- ・いろいろなボランティア・市民活動
- ・社協ボランティアセンターの役割
- ・名古屋市内のボランティアセンター

2 ぼらマッチ! なごや

ボランティアをしたい人と、ボランティアを必要としている団体・施設のマッチングイベント
(就職企業展のボランティア版)

主催：名古屋市・名古屋市社会福祉協議会

企画：ボランティア活動の促進協働会議

参加団体（愛知大学 ボランティアセンター、愛知学院大学 地域連携センター、愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター、株式会社デンソー、同朋大学、特定非営利活動法人 名古屋 NGO センター、名古屋学院大学 学生支援課、名古屋学芸大学 サービスラーニングセンター、公益財団法人名古屋国際センター、名古屋市、社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、名古屋市立大学 学生課、日本福祉大学 地域連携推進室、ブラザー工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部、特定非営利活動法人 ボラみみより情報局、名城大学 ボランティア協議会/50音順）

日時：令和元年6月15日(土) 10時～15時30分（9時30分受付開始）

会場：愛知学院大学名城公園キャンパス アガルスタワー10階

内容：●交流タイム

くじで決まったグループで、ボランティア団体・施設（30団体）が来場者と交流しながらマッチングを行う。（30分×3回）

●体験コーナー…3ヶ所

車いす、パラリンピックスポーツ「ボッチャ」、難聴者支援ボランティア、その場で体験できるコーナー

●相談コーナー

市民活動推進センター、市・区社協職員ボランティアコーディネーターによる相談

●ぼらカフェ

学生と障がい当事者によるカフェの運営

参加者：247名（資料配布数を計上。出展者・スタッフ含む）

5 ボランティアの学習の場づくり

1 ボランティア入門講座

ボランティアをこれから新たに始めようと考えている方向けに、ボランティア活動の心得、注意点や自分にあった活動の探し方、また実際の活動者からの事例発表を行う講座を市民活動推進センターと共催で開催。

- (1) 日 時：①令和元年5月25日(土) 14:00~16:00
②令和2年2月 1日(土) 14:00~16:00
- (2) 会 場：①名古屋市市民活動推進センター 集会室
②名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室
- (3) 内 容：講義
活動事例発表
- (4) 参加者：計15名(①9名、②6名)

2 ボランティア体験講座

実際にボランティア先で活動されている方や参加者と関わることで、ボランティアの活動目的や内容、やりがい等を知ってもらい、今後のボランティア活動につなげることを目的に市民活動推進センターと共催で開催。

- (1) 日 時：①令和元年9月20日(金) 9:00~12:00
②令和元年9月21日(土) 9:15~12:00
③令和元年9月25日(水) 10:00~15:30
④令和元年9月28日(土) 9:00~13:00
- (2) 会 場：①熱田区デイサービスセンター(熱田区)
②名古屋市障害者スポーツセンター(名東区)
③めいほく鳩岡の家(北区)
④昭和生涯学習センター(つなぐ子ども食堂一般社団法人つなぐ子ども未来)(昭和区)
- (3) 内 容：①高齢者の方の話し相手やお茶出しなど
②競技用車いすに乗って一緒にスポーツをプレーしたり、ボール拾いのサポートなど
③障がい者のプリンなどの製造、カフェの運営、レクリエーションの補助など
④会場づくり食事の調理、配膳、片付け、子どもの遊び相手など
- (4) 参加者：計15名(①3名、②5名、③4名、④6名)

2 「なごやボランティア楽集(がくしゅう)会~しゃべり場・学び場・気づきの場~」

ボランティア・市民活動の実践者同士(同志)が活動の意義や役割、原点等についてともにふりかえり、次世代の実践者に対して「思い」を紡ぐことを目的に開催。

今年度は、ボランティア活動経験の有無を問わず、ボランティア活動に関心がある方や今回のテーマ「多文化交流」に関心のある方であれば誰でも参加対象として実施した。

(1) 開催委員会

有志による委員会で運営を行った。

- ①委 員：明石 雅世(みんなで創ろうわがまちひがし、♪ハート♪、東区民生児童委員)
井 階 弥可(点訳ボランティア北会、こころに寄り添うボランティア“かけはし”代表)
織 田 元 樹(特定非営利活動法人ボラみみより情報局 代表理事)
佐原 恵津子(特定非営利活動法人ボラみみより情報局、国際子ども学校)
椿 佳 代(エンジェルランプ、多文化防災ネットワーク愛知・名古屋)
渡 辺 勉(夢喰人 代表、特定非営利活動法人チャイルドラインあいち)

- ②会 議：第1回……平成31年 4月20日(土) 6名参加+事務局2名
 第2回……令和 元年 5月18日(土) 6名参加+事務局2名
 第3回……令和 元年 6月30日(日) 5名参加+事務局2名
 第4回……令和 元年 8月 4日(日) 6名参加+事務局2名
 第5回……令和 元年 9月29日(日) 5名参加+事務局2名
 第6回……令和 元年11月 5日(火) 5名参加+事務局2名
 第7回……令和 元年12月18日(水) 6名参加+事務局2名

当日(第1回目)……令和 2年 1月19日(日) 6名参加+事務局2名
 当日(第2回目)……令和 2年 2月16日(日) 6名参加+事務局2名
 ※第3回目は新型コロナの影響により延期

<ふりかえりの会(第1回目)>

令和 2年 1月19日(日) 6名参加+事務局2名

<ふりかえりの会(第2回目)>

令和 2年 2月16日(日) 6名参加+事務局2名

(2) 当日

①主 催：なごやボランティア楽集会開催委員会(事務局：名古屋市社会福祉協議会)

②日 時：(第1回目) 令和2年1月19日(日) 13:30~16:30

(第2回目) 令和2年2月16日(日) 13:30~16:30

③場 所：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

④テーマ：『今や“他人ごと”じゃない!「多文化共生」を考える』

⑤内 容：(第1日目)

演題「“暮らす”ということは、みんな一緒」

講師：神田 すみれさん(多文化ソーシャルワーカー)

(第2日目)

演題「“学ぶ”ということは、みんな一緒」

講師：佐原 恵津子さん(ポラみみより情報局、国際子ども学校)

(第3日目)

演題「“被災する”ということは、みんな一緒」

講師：椿 佳代さん(エンジェルランプ、多文化防災ネットワーク愛知・名古屋他)

※第3日目は新型コロナウイルスの影響により延期

⑥参加者：第1日目30名、第2日目20名

6 企業の社会貢献活動・勤労者のボランティア活動の支援

1 活動情報の提供等

(1) 事業提案、他機関・団体への紹介

企業等からの問合せに対応し、企業の社会貢献事例についての情報提供や必要に応じて区社協や他団体等につなぐ等を行った。

2 活動支援（調整）

(1) 社会貢献活動支援

ナゴヤドームでの野球観戦招待事業の招待先調整（平成24年3月～）

企業：名古屋住友クラブ

内容：児童養護施設等で生活する児童などを野球観戦に招待

2020年分のナゴヤドームでの中日ドラゴンズ戦

全68試合×5席＝340名（15団体）を招待

(2) 寄贈物品の紹介・調整・受付（本会受付分のみ）

・日産緑化株式会社（高齢者疑似体験セット）

・中京銀行（車いす6台）

・全国鐵構工業協会 青年部会（車いす16台）

・トヨタ自動車株式会社（事務用ファイル・文房具寄贈）

→中村区・昭和区・中川区・南区・名東区社協と市社協が受け取り

(3) 社員のボランティア活動支援

三菱UFJ銀行平成31年度新人社員研修におけるボランティア活動体験に関する調整（施設ラインと連携）

7 助成事業等の情報提供及び団体の推薦等

民間団体等が行う活動助成事業や寄贈事業について、本会窓口への案内等配架や本会 Facebook への情報掲載等を通して広く情報提供を行うとともに、団体推薦、選考を行った。

1 助成事業・寄贈情報の提供（順不同） ※「★」は寄贈事業

- ・公益財団法人太陽生命厚生財団「社会福祉助成」
- ・ファイザープログラム「心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」
- ・24時間テレビ「愛は地球を救う」福祉車両寄贈★
- ・社会福祉法人清水基金「助成事業」
- ・財団法人松翁会「社会福祉助成」
- ・損保ジャパン日本興亜福祉財団「自動車購入費助成」
- ・車両競技公益資金記念財団「高齢者、障害者等の支援を目的とするボランティア活動に対する助成」
- ・一般社団法人生命保険協会「元気シニア応援団体に対する助成活動」
- ・ヤマト福祉財団「福祉助成」
- ・公益財団法人大和証券福祉財団「ボランティア活動助成」
- ・公益財団法人日本科学協会「笹川科学研究助成」
- ・名古屋市療養サービス事業団「公益助成」
- ・損保ジャパン日本興亜福祉財団「認定 NPO 法人取得資金」
- ・住友生命健康財団「スミセイコミュニティスポーツ推進助成」
- ・こくみん共済 coop「地域貢献助成事業」
- ・日本郵便「年賀寄付金配分団体」
- ・麒麟福祉財団「麒麟・地域のちから応援事業」「麒麟・福祉のちから開拓事業」公募助成
- ・一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団「社会貢献基金助成」
- ・大阪コミュニティ財団「助成」
- ・日社済社会福祉助成事業「社会福祉助成」
- ・車両競技公益資金記念財団「高齢者、障害者等の支援を目的とするボランティア活動に対する助成」②
- ・田辺三菱製薬「手のひらパートナープログラム」
- ・公益財団法人さわやか福祉財団「連合・愛のカンパ助成」
- ・コーポレートガバナンス協会「北川奨励賞」公募
- ・赤い羽根共同募金 マニユライフ生命「子どもの療養環境向上サポート助成」
- ・毎日新聞大阪社会事業団「公募福祉助成金」「世界子ども救援金」「シンシア基金」公募助成
- ・中央共同募金会「赤い羽根福祉基金助成」
- ・独立行政法人 福祉医療機構(WAM 助成：モデル事業)
- ・独立行政法人 福祉医療機構(WAM 助成：通常助成事業)
- ・ニッセイ財団「高齢社会助成」
- ・休眠預金等を活用した公募助成及びソフトバンクチャリティースマイル「安心して社会に巣立とう応援助成」
- ・東海ろうきん「NPO 寄付育成助成」
- ・みずほ教育福祉財団「老後を豊かにするボランティア活動資金」助成事業、「配食用小型電気自動車『みずほ号』」寄贈事業★
- ・全国ボランティア・市民活動振興センター「50代労働者等現役世代の地域活動の推進・普及事業」
- ・社会福祉法人NHK厚生文化事業団「わかば基金」★
- ・大野良久記念老人福祉基金「助成」

- 中央共同募金会「緊急支援活動助成事業」
- 毎日新聞大阪社会事業団「配食車贈呈事業」★

2 団体の推薦

- 公益財団法人大和証券福祉財団「子ども支援活動助成」(1 団体)
- 公益財団法人キリン福祉財団「キリン・地域のちから応援事業」助成 (2 団体)
- NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド「ドコモ市民活動団体助成事業」(1 団体)

3 団体の選考

- 社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団「愛の鈴号寄贈事業」

8 ボランティア活動に関する顕彰への推薦等

1 国・県・市等が行う各種顕彰事業への推薦 ()内は登録先社協

(1) 第56回名古屋市民間社会福祉事業功労者市長ほう賞

<受賞団体>

●表彰

フレンド・シップ手話（北区）

なかむら朗読（中村区）

みなづき会（天白区）

●感謝

ポイント・テン（東区）

かけこみ女性センターあいち（昭和区）

朗読ボランティアグループ銀のすず（熱田区）

音訳ボランティアみどり（緑区）

楽譜点訳研究会（市社協）

(2) 令和元年度 愛知県ボランティア活動功労者知事表彰

<受賞団体>

ボランティアグループすみれの会（中村区）

昭和区おもちゃライブラリー「ポッポ」（昭和区）

(3) 令和元年度 ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

<受賞団体>

南音訳ボランティアひだまり（南区）

9 市域ボランティアネットワーク組織の支援

1 名古屋市おもちゃ図書館連絡会（昭和63年11月設立）

おもちゃ図書館活動の輪を広げ、各おもちゃ図書館が協力し合うことを目的とする。

(1) 構成団体

①図書館 17館（4分館含む） ②病院（修理） 4病院 計21団体、1個人

(2) 代表

おもちゃ図書館ぴっころ 武田 美和子 氏

(3) 総会

日 時：令和元年6月9日（日）

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内 容：平成30年度事業報告及び会計報告、令和元年度事業計画及び予算 等

参加者：17名（12館、1院、1世話人）

(4) おもちゃの研究事業（ボランティア研修会）

日 時：令和元年12月7日（日）

場 所：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内 容：手づくりおもちゃへの取り組み

講師 中山 多枝子さん（日本グッドトイ委員会認定おもちゃコンサルタントマスター）

参加者：17名

(5) 定例会

未開催

(6) 世話人会

①日 時：令和元年7月3日（水）

内 容：研修会について打ち合わせ（内容・講師等）

参加者：4名+事務局1名

②日 時：令和元年8月27日（火）

内 容：ボランティア研修会講師打ち合わせ 等

参加者：2名+事務局1名

③日 時：令和元年11月13日（水）

内 容：ボランティア研修会打ち合わせ・準備等

参加者：4名+事務局1名

④日 時：令和2年3月13日（金）

内 容：今年度事業・決算、来年度事業・予算検討 等

参加者：3名+事務局1名

(7) PR活動

平成30年度に新たに「名古屋市子ども・子育て支援センター」に団体登録を行い、「情報ガーデン」でリーフレットや会員団体一覧の配架等を行った。

(8) 中央図書館の運営

おもちゃ図書館「ともだち」（中央図書館）の活動実績等

・会場	市総合社会福祉会館トレーニングルーム（6階）	・利用者	1,508人（新規26名）
・開館	月3回（第1月曜・第2土曜・第3日曜）延べ30日	・ボランティア	延245人
・おもちゃの点数	602点	・行事等参加	3回
・貸出点数	362点（310件）		
・例会	9回		

2 名古屋点訳ネットワーク（NBN）（平成10年6月14日設立）

点訳活動の輪を広げ、各点訳ボランティアが協力し合うとともに、視覚障害者が点訳情報をより入手しやすくすることを目的とする。

(1) 構成団体

45 団体（通信送付先）

(2) 代表

大樹会 中西 和子 氏

(3) 総会・交流会

日 時：令和元年6月2日（日）

場 所：名古屋市総合社会福祉会館 6階 多目的活動室

内 容：『視覚障がい者の読書環境の変化—全盲の場合を中心に』
（講師：植村 要 氏）

参加者：30名

(4) NBN通信の発行（随時）

3 ガイドネットワークなごや（平成12年10月設立）

ガイドボランティア活動の輪を広げ、各ガイドヘルプボランティアが協力し合うとともに、視覚障がい者の外出支援をより効果的に行うことを目的とする。

(1) 構成団体

7団体

(2) 代表

アイフレンズしゃちほこ 菱田 ひとみ氏

(3) 総会及び勉強会

日 時 平成31年4月21日（日）13:30～15:30

会 場 名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内 容 総会（平成30年度事業報告等）

折り紙体験 講師：田口 知子 氏

参加者 18名

(4) ガイドボランティア養成講座

【第1回目】

日 時 令和元年6月5日、12日、19日、26日（水）全4回 13:30～16:00

会 場 名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室 ほか

講 師 ガイドネットワークなごやメンバー

受講者 3名

【第2回目】

日 時 令和元年11月5日、12日、19日、26日（火）全4回 13:30～16:00

会 場 名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室 ほか

講 師 ガイドネットワークなごやメンバー

受講者 9名

(5) 研修・交流会

【第1回研修会】 令和元年11月5日（火）（第2回目養成講座の1日目と兼ねる）

講 師 名古屋盲人情報文化センター 岩間 康治 氏

参加者 29名（内訳：会員20名、新規講座受講者9名）

【第2回研修】

日 時 令和2年1月25日（土）13:30～15:00

会 場 中部盲導犬協会

内 容 見学会

参加者 30名

(6) 役員会

8回開催

(7) ガイドボランティアコーディネート実績

受付ニード合計：116件

成立件数：68件（実85件）ボランティア活動者数：延べ115名

対応不可件数：26件、依頼取下げ件数：22件

4 名古屋市ボランティア連絡協議会（平成18年3月30日設立）

区ボランティア連絡協議会によって構成され、区ボラ連の情報交換や交流活動、ボランティア活動への参加を促進する活動などを行う。

(1) 構成団体

12団体（各区ボランティア連絡協議会）※ 北区、瑞穂区、熱田区、中川区を除く

(2) 代表

守山区ボランティア連絡協議会 田代 京美 氏

(3) 役員会・例会

① 令和元年 5月10日（金）役員会 参加者：4名

② 令和元年 5月24日（金）例会 参加者：6名

③ 令和元年 7月 1日（火）役員会 参加者：4名

④ 令和元年 7月 9日（火）例会 参加者：11名

情報交換会 参加者：25名

場所：名東区社協

⑤ 令和元年 8月26日（月）役員会 参加者：4名

⑥ 令和元年 9月25日（水）例会 参加者：8名

⑦ 令和元年10月16日（水）役員会 参加者：4名

⑧ 令和元年11月18日（月）例会 参加者：9名

情報交換会 参加者：26名

場所：緑区社協

⑨ 令和2年 1月15日（水）役員会 参加者：3名

⑩ 令和2年 2月14日（金）役員会 参加者：3名

⑪ 令和2年 2月25日（火）例会 参加者：6名

④、⑥以外は、名古屋市総合社会福祉会館で実施

(4) 事業等

令和2年1月26日（日） 第3回まなびの場 参加者：55名

（参考）各区ボランティア連絡協議会設置状況（令和2年3月31日現在）

名 称	設立年月	加入数		主な構成団体
		団体	個人	
千種区ボランティア連絡協議会 （事務局：千種区社会福祉協議会）	H14.5	11	2	ボラ団体・個人
東ほっとネット （事務局：東区社会福祉協議会）	H14.3	46	5	ボラ団体・個人・NPO・ 学校・施設・企業・当 事者団体・区役所・生 涯学習センター
西区ボランティア連絡協議会 （事務局：西区社会福祉協議会）	H7.8	32	10	ボラ団体・NPO 団体・ 福祉施設・個人

名 称	設立年月	加入数		主な構成団体
		団体	個人	
中村区ボランティア連絡協議会 (事務局：中村区社会福祉協議会)	S63.9	6	-	ボラ団体・NPO 法人
ボラネットなかまんなか (事務局：中区社会福祉協議会)	H14.10	16	-	ボラ団体のみ
昭和区ボランティア連絡協議会 (事務局：昭和区社会福祉協議会)	H6.9	22	-	ボラ団体・福祉関係施設・当事者団体
港区ボランティア連絡協議会 (事務局：港区社会福祉協議会)	H14.4	13	15	ボラ団体・個人
南区ボランティア連絡協議会 (事務局：南区社会福祉協議会)	H2.9	24	-	ボラ団体のみ
守山区ボランティア連絡協議会 (名古屋守山ロータリー地域社会共同隊) (事務局：守山区社会福祉協議会)	H8.11	18	-	ボラ団体のみ
ボラネットみどり (事務局：緑区社会福祉協議会)	H12.3	19	3	ボラ団体・個人・NPO 団体
名東区ボランティア連絡会 (事務局：名東区社会福祉協議会)	S61.6	15	-	ボラ団体のみ
ふれ愛ネット天白 (事務局：天白区社会福祉協議会)	H9.3	17	0	ボラ団体・福祉施設・当事者団体・当事者支援団体・NPO

※あつたボランティアねっと（事務局：熱田区社会福祉協議会 H18.3 設立～H28.6 で解散）

5 名古屋市傾聴ボランティアの会（平成26年6月設立）

会員相互の連携を図るとともに、市民の傾聴ボランティア活動に対する理解を深め、傾聴ボランティア活動への参加の促進を通して、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

(1) 構成団体

14 団体

(2) 代表

地域ボランティアかがやき 近藤 京子氏

(3) 例会

<第1回>

日 時：令和元年6月14日（金）10:00～12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館 7階 研修室

内 容：総会

情報交換

テーマ「グループ運営」（担当：ひまわり・かがやき・みみちゃん）

参加者：13団体51名

<第2回>

日 時：令和元年9月27日（金）10:00～12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

内 容：協議・検討（研修会について等）

テーマ「交流」（担当：宮前・はばたき・ほっとはあと・みどり）

情報交換

参加者：14団体58名

<第3回>

日 時：令和元年12月13日（金）10:00~12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

内 容：協議・検討（研修会について等）

テーマ「事例発表」（担当：華蓉会・こころん昭和・すみれ・てんぱく）
情報交換

参加者：14団体50名

<第4回> ※新型コロナウイルスの影響で中止

日 時：令和2年3月13日（金）10:00~12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内 容：協議・検討（研修会、令和2年度の活動について）

テーマ「研修」（担当：きたちゃん・西うさぎ・うさぎの耳）
情報交換

(4) 企画運営委員会

令和元年5月10日（金）、8月9日（金）、11月8日（金）、
令和2年2月8日（金）

(5) 研修会 ※新型コロナウイルスの影響で中止

テーマ：「傾聴スキルをピアサポートから学ぼう」

日 時：令和2年3月13日（金）13:30~15:00

会 場：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

講 師：日本ピア・サポート学会 理事 山口 権治 氏

10 福祉教育・ボランティア体験学習の推進

1 福祉学習サポーターの拡充（平成 27 年～31（令和元）年度の 5 力年）

福祉学習サポーターの目的・役割を改めて、5力年で養成していくとともに、区社協と福祉学習サポーターが協働し、学校のみでなく、地域における福祉教育・学習を推進する。

（1）養成目的

地域で福祉学習を推進する協力者として、自身の体験・経験を参加者に伝え、参加者が地域の課題等に気づき、自ら解決に取り組むように働きかけるメンバーを養成する。

（2）福祉学習サポーターの役割と 3 つの力

参加者が福祉意識・共生意識を高めることのできる内容を伝える。

①作り出す力（プランニング）

参加者の学びを深めるプログラムの内容を区社協等と共に検討する力。

②伝える力（プレゼンテーション）

自身の経験から参加者の共生意識が深まる内容、メッセージを自らの言葉で伝える力。

③振り返りを深める力（リフレクション）

体験学習で終わらず、効果的な振り返りを通して、参加者の学びを深める力。

（3）養成実績

34 名

〈令和元年度養成人数〉（カッコ内：平成 27～令和元年度のサポーター総数 計 175 名）

千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
1(14)	2(7)	2(8)	0(6)	2(7)	1(12)	4(15)	3(16)
熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
3(10)	6(16)	4(13)	1(7)	0(11)	2(13)	3(11)	0(9)

〈参考〉※市社協 第 2 次経営戦略計画より抜粋

実施項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
福祉学習サポーター(福祉学習協力者)の拡充	サポーター数 32 人	64 人	96 人	128 人	160 人

（4）事業スケジュール

日にち	内 容
8月20日	<p>【第 1 部】</p> <p>地域共生社会の実現に向けて 学校や地域で育む福祉のセミナー ～福祉教育・福祉学習からはじまる地域づくり～</p> <p>【説明】名古屋市社協の福祉教育の取り組みについて 名古屋市社協 地域福祉推進部</p> <p>【公開講演会】共に生きる力を育む福祉教育 日本福祉大学 学長補佐・社会福祉学部 教授 原田 正樹氏</p> <p>参加者：61名</p>

	<p>【第2部】</p> <p>令和元年度 福祉学習サポーター養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の取組みと福祉学習サポーターについて ・「多様性」を認めあい、自分の周りや地域の問題を「我がごと」と感じることができる福祉教育プログラムを考えよう！ <p>参加者：47名</p>
12月14日	<p>区社協福祉教育担当者連絡会</p> <p>◆説明事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社協「全国福祉教育推進員研修」の報告 ・各区社協の取組みや課題解決のアイデア共有 ・福祉教育ボランティア学習のつどい in あいち・なごやの案内 ・福祉学習サポーターフォローアップ研修の案内
2月8日	<p>「共生文化創造への途－福祉教育・ボランティア学習の新たな展開を探る」</p> <p>【会場】</p> <p>日本福祉大学 東海キャンパス（東海市大田町川南新田 229）</p> <p>【主催】</p> <p>日本福祉教育・ボランティア学習学会中部ブロック・愛知県社会福祉協議会・名古屋市社会福祉協議会</p> <p>【後援】</p> <p>日本福祉大学・愛知県・名古屋市</p> <p>① 実行委員会への参画</p> <p>② 大会運営の協力（市社協職員）</p>
3月1日 ※新型コロナウイルスの影響で中止	<p>福祉学習サポーターフォローアップ研修</p> <p>【実践報告】地域での福祉教育・学習推進事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の福祉学習サポーター、社協職員による実践報告 ① 多様な機関と連携した福祉教育プログラム（瑞穂区） ② 目に見えない障害について伝える ～学校での発達障害プログラム～（南区） <p>【グループワーク①】</p> <p>実践報告からの気づきを共有</p> <p>【グループワーク②】</p> <p>下記テーマのうち2つを選んで各グループ、もしくはワールドカフェで意見交換（65分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の広報の仕方 ・福祉教育協力者の集まる場づくり（定例会・研修会・交流会） ・学びを深めるプログラムの工夫や振り返りの仕方 <p>【グループワーク③】</p> <p>自分の区で集まり、活かせること、今後やりたいことを共有</p>

2 なごや出張福祉学習

地域住民の福祉意識や共生の意識を高めるため、市・区社協職員（専門職員を含む）が推進協・施設・大学・企業等、地域に出向いて福祉学習の機会を創出する取り組み。

<実績>

なごや出張福祉学習の実施回数および参加者数等集計結果（令和元年度累計）								
	実施件数	学習内容						参加人数
		計画説明	社協概要	関係ボランティア	つき（地）くが居域福（所）仲・関係（場）関係	関係知症・介護	その他	
千種区	3		1		2			83
東区	3				2		1	62
北区	1						1	8
西区	1		1	1	1			4
中村区	4	1	2	2	2	2	2	540
中区	1		1				1	24
昭和区	3				3			37
瑞穂区	6	1	4	5	4			88
熱田区	0							
中川区	1		1		1			200
港区	4	1			2		2	114
南区	5		1	1	3	2	1	147
守山区	0							
緑区	11						11	102
名東区	3		2				1	60
天白区	19	1		2	15	5	2	447
市社協	5			5				146
権利擁護	70					70		1,892
障害者差別	36						36	2,163
元年度 全市合計	176	4 2.0%	13 6.3%	16 7.8%	35 17.1%	79 38.5%	58 28.3%	6,117

<参考>※市社協 第2次経営戦略計画より抜粋

実施項目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民向け福祉学習 の機会創出	実施件数 48件 (1区3件程度)	80件	112件	144件	176件

3 福祉教育・ボランティア学習の実施

(1) 対象

市内の小・中・高・特別支援学校、地域団体

(2) 福祉教育・ボランティア学習の実施回数および参加者数等集計結果

	実施件数	実施プログラム数	実施プログラムメニュー内訳									参加人数	体験者人数	対応状況				
			車いす	手話	点字	ガイドヘルプ	盲導犬	高齢者疑似体験	講演・事業等	活動・実地	その他			職員派遣	協力者の調整	体験提供機材等	授業内容の提案・検討	その他
千種区	10	31	3	2	4	4	1	9	8		2,880	2,880	10	10	8	3		
東区	8	17	3			6	1	7			1,316	1,294	8	8	3	8		
北区	12	20	3	1		3	5	8			1,510	1,510	12	11	9	9	1	
西区	12	23	1	7	1	3		11			1,193	1,172	12	11	4	5		
中村区	13	31	1	3		5	2	5	12	3	1,833	1,809	13	13	6	6		
中区	17	19	4	4	1	2	1	3	1	3	676	676	12	14	6		1	
昭和区	18	30	5	1	2	6	1	13	2		2,861	2,861	16	17	4			
瑞穂区	12	24	1	2	2	2	5	10	2		1,722	1,731	11	12	11		11	
熱田区	3	5	1					2	1	1	257	257	3	2	2		2	
中川区	20	66	6	2	2	7	3	4	20	20	4,070	3,846	20	20	17		4	
港区	16	25	2	3				4	11	5	1,424	1,414	14	15	9		3	
南区	15	25	4	2	2			2	14	1	1,312	1,327	13	15	9		3	
守山区	9	14	2			3	2	6	1		2,073	2,073	9	9	8		6	
緑区	21	58	1	7	4	8	4	19	13	2	4,723	4,461	20	20	15		5	4
名東区	24	42	9	2		7	5	18		1	6,173	4,040	23	20	16		21	
天白区	18	32	5	5	6	6	3	7			3,335	3,264	18	18	15		6	1
元年度 全市合計	228	462	51	41	24	62	5	43	170	57	9	37,258	34,815	214	215	142	92	7
			11.0%	8.9%	5.2%	13.4%	1.1%	9.3%	36.8%	12.3%	1.9%							

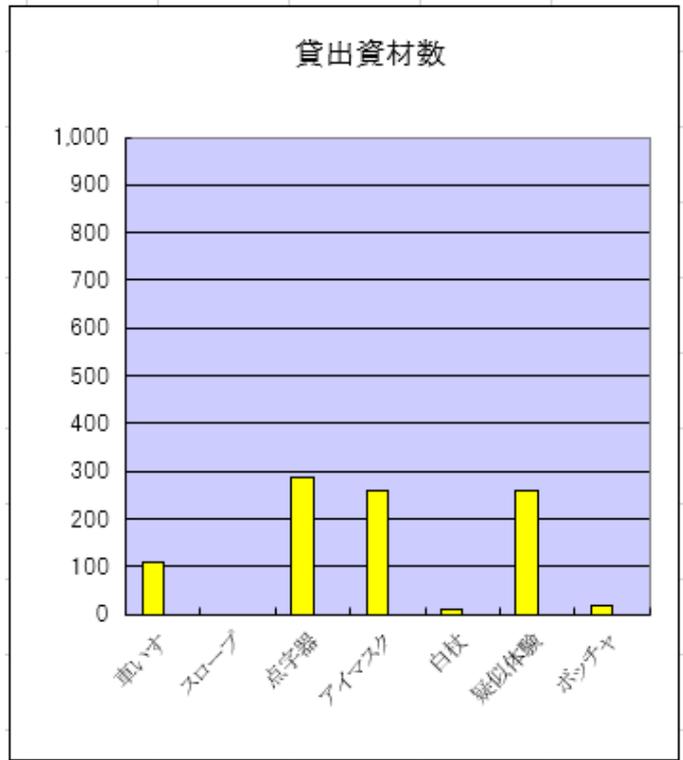
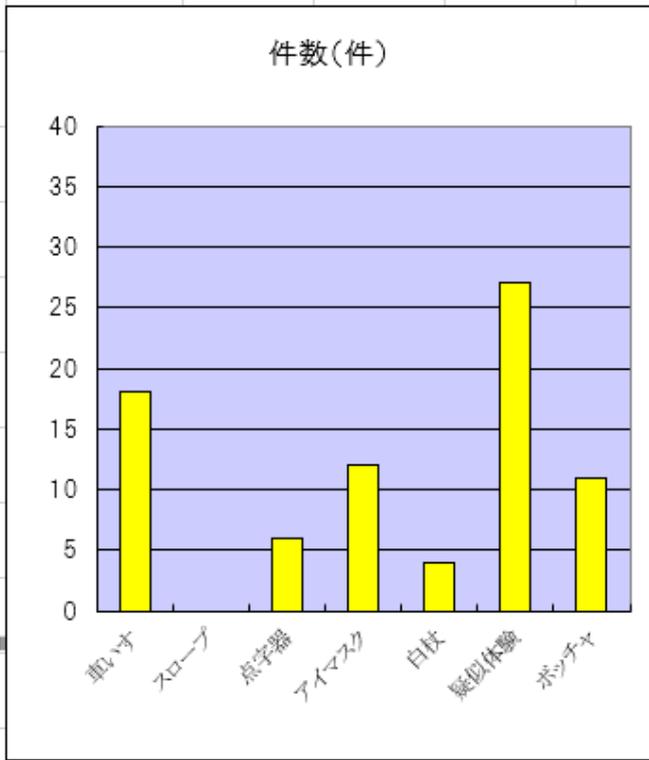
4 福祉教育等資材の貸出し

学校等で行う福祉体験学習に対して、以下の資材の貸出しを行った。

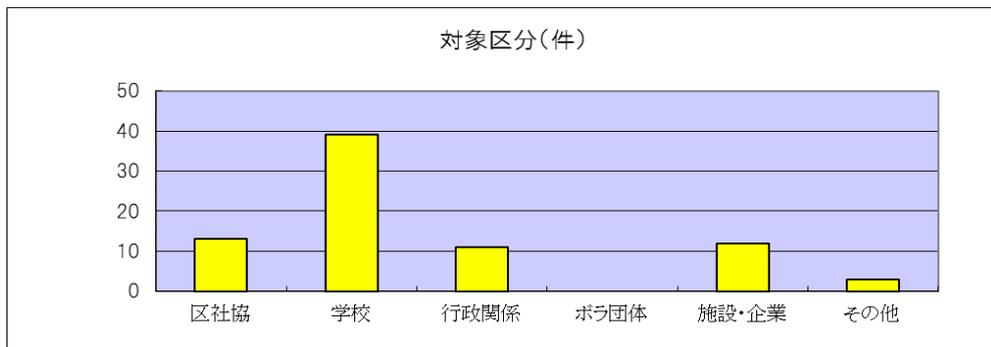
資材	資材数	貸出件数
車いす	22台	18
車いす用スロープ	1セット	0
点字器	242個	6
アイマスク	120個	12
白杖	9本	4
高齢者疑似体験セット	21セット	27
ポッチャ	3セット	11

<福祉教育等資材貸出実績>

【貸出資材】	車いす	スロープ	点字器	アイマスク	白杖	疑似体験	ポッチャ	その他	計
件数(件)	18	0	6	12	4	27	11	0	78
貸出資材数	108	0	285	260	8	258	17	0	936



【対象区分】	区社協	学校	行政関係	ボラ団体	施設・企業	その他	計(件)
全体	13	39	11	0	12	3	78



5 福祉読本「ともに生きる」の発行

児童期から社会福祉への理解と関心を高め、社会連帯の精神を養うことを目的に、道徳や特別活動における参考資料としての冊子を作成し、配布するもの。

(1) 配布対象

名古屋市内の全小学校及び特別支援学校の5年生と教員

(2) 作成部数

21,000部

(3) 内容

- ① ふれあう ささえあう いろいろな人とかがわりあうわたし・身近な人々とかがわる・地域を知ろう・ふだんのくらしのしあわせ
- ② ともに生きる 幼児とともに・高齢者とともに・障がいのある人とともに
- ③ 福祉でまちづくり 人にやさしいまちづくり・はじめてみようボランティア・福祉をささえる

11 災害ボランティア活動の推進

1 災害ボランティア関係団体との連携

(1) 「なごや災害ボランティア連絡会」への参画

名古屋市と締結している「災害時における一般ボランティアの受入活動に関する協定書」に基づく関係機関が、平常時からの連携とネットワーク化を図ることを目的とした連絡会に、常任幹事として参画

(2) 災害ボランティアコーディネーターなごや総会等への参加

(3) 名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座への協力

名古屋市が実施する養成講座への企画・実施に協力

★「なごや災害ボランティア連絡会」構成団体

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、各区災害ボランティア団体16団体、災害ボランティアコーディネーターなごや、あいち防災リーダー会名古屋ブロック、名古屋市、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、公益財団法人名古屋国際センター

★市内の災害ボランティアネットワークの設置状況

(設立順)

No.	区域	団体名	設立年月
1	市全域	災害ボランティアコーディネーターなごや	H14.11
2	守山	防災ボラネット守山	H15.8
3	港	名古屋みなと災害ボランティアネットワーク	H15.11
4	緑	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク	H16.4
5	北	名古屋きた災害ボランティアネットワーク	H16.6
6	天白	天白でいぶり	H16.8
7	名東	名東区災害ボランティアの会	H17.3
8	東	名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク	H17.5
9	南	名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク	H18.2
10	中川	名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク	H18.12
11	瑞穂	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	H19.8
12	西	なごやにし防災ボランティアの会	H19.8
13	昭和	なごや防災ボランティアネットワーク昭和	H19.11
14	中村	なごや中村災害ボランティアネットワーク	H21.3
15	中	なごや防災ボランティアネットワークなか	H21.7
16	熱田	あつた災害ボランティアネットワーク	H21.9
17	千種	災害ボランティアちくさネットワーク	H21.12

2 災害ボランティアセンター三者合同研修

災害ボランティアセンターの設置・運営においては、市・区役所、市・区社会福祉協議会、災害ボランティアの連携・協働が重要であり、平成18年度からその三者が一堂に会する研修を実施してきた(平成23年度は中止)。当年度は、南海トラフ地震の被害想定を元にした実践型複数区合同で災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行い、円滑なセンター運営に関する協議や情報共有を行うことを目的として開催した。

(1) 担当者研修会

日 時：令和元年6月18日(火) 13:30~17:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内 容：「社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを運営する意味・意義」

講師：認定NPO法人 レスキューストックヤードスタッフ

震災がつなぐ全国ネットワーク事業担当責任者 松山 文紀 氏

「災害ボランティアセンター設置・運営ガイド(タイムライン版)について」

「令和元年度災害ボランティアセンター三者合同研修について」

参加者：30名(15区社協23名/市社協3名/行政4名)

(2) 当日

日 時：令和元年6月29日(土) 9:30~16:00

場 所：北区役所2階講堂、名古屋市総合社会福祉会館7階大会議室等

内 容：●基調講演「南海トラフ地震の被害想定について」

名古屋市防災危機管理局 深川 和哉 氏

「東日本大震災での対応について」

社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会 早川 敏 氏

進行：(認特)レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏

●区災害ボランティアセンター運営訓練(グループワーク)

●市災害ボランティアセンター運営訓練(グループワーク)

●全体ふり返り 各ブロック代表からの報告

進行：(認特)レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏

●まとめ

主 催：なごや防災ボラネット、名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

参加者：153名(なごや防災ボラネット：87名、市・区役所：25名、市・区社協34名、SeRV・名建協等外部支援者：7名)

3 愛知県社協「市町村社協災害対応支援部会」への参加

愛知県社協「市町村社協災害対応支援部会」へ委員として職員を推薦、会議に参加

4 名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド(タイムライン版)の作成

災害発生時に、ボランティアセンターの立ち上げといった「設置」からセンターを起動に乗せるまでの社協職員の動きを時系列に示した「タイムライン」を作成。

5 大槌町復興応援企画～大槌町を忘れないキャンペーンⅦ～

東日本大震災の被災地であり、名古屋市社協が継続的に支援を行っている岩手県大槌町社協に対し、震災の風化防止及び息の長い復興支援のため、「今できる支援」とともにひろく市民等に伝達するもの。

令和元年度は、今後の企画のあり方を検討し、震災の風化防止のためには、現地の情報を、定期的に市民に提供することとなった。3年に1度程度現地を訪問し、その様子を市民に伝えることとしたが、次の訪問は、令和2年度に行う。

6 「東日本大震災を忘れない」コーナー運用

名古屋市総合社会福祉会館福祉のひろばに「東日本大震災を忘れない」コーナーを通年で設置し、東日本大震災の被災地の状況やボランティア活動に関する状況をまとめた新聞紙面切り抜き記事等を随時掲示。

7 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営

東日本大震災の発生を受けて、名古屋市に避難されている方の支援と被災地域におけるボランティア活動希望者への情報提供等を目的に、センターを運営。

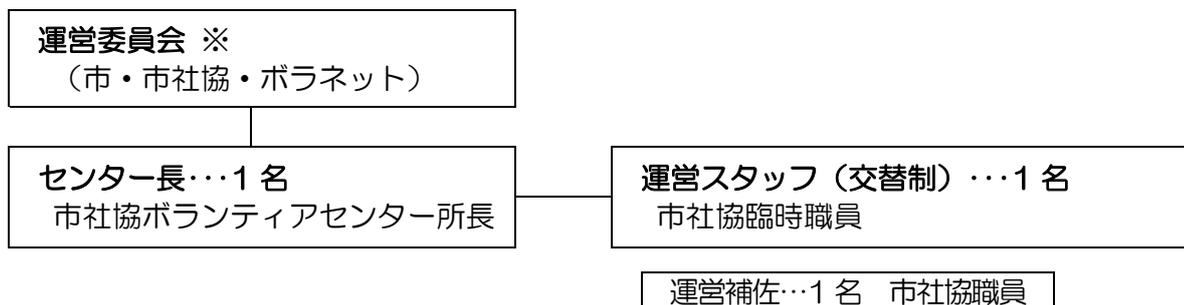
(1) 概要

設置主体	名古屋市（以下「市」という。）
運営主体	名古屋市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）
運営協力	なごや防災ボラネット（以下「ボラネット」という。）
開設日	平成23年4月14日(木)
開設時間	午前9時～午後5時（※土・日・休日を除く）
開設場所	名古屋市総合社会福祉会館5階 名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター内

(2) 機能

- ①市内にお住まいの被災者の生活支援に関するニーズの把握とボランティアによる支援
- ②被災地域におけるボランティア活動を希望する方に対する相談、情報提供

(3) 運営体制



※運営委員会委員 (5名)

市社協事務局長	立松 博
なごや防災ボラネット(名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク代表)	小野 月比古 氏
なごや防災ボラネット (認定NPO 法人レスキューストックヤード代表理事)	栗田 暢之 氏
名古屋市市民活動推進センター 所長	鶴田 恵子 氏
市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課長	田嶋 仁美 氏

①運営委員会【開催実績】

回	日時・場所	人数	内容（議題等）
1	令和元年6月7日(金) 16時00分～17時00分 レスキューストックヤード事務所	5名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度センターの運営実績について 令和元年度センターの運営について お茶っこサロンについて かたりべ活動について 見守り・支援等が必要なケースについて
2	令和2年2月7日(金) 14時～15時45分 レスキューストックヤード事務所	5名	<ul style="list-style-type: none"> センターの運営状況等について お茶っこサロンについて アンケートと訪問で把握した被災者の状況について 令和2年度のセンターの設置・運営について

② 窓口開設日数

合計 240 日（開設以来のべ 2,182 日）

③ 関係会議

- ・東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや連絡会…毎月1回開催
- ・お茶っこサロン実行委員会…年4回開催
- ・県・市センター連絡会…毎月1回開催

(4) 運営実績

①相談実績

被災者からの相談	202 件	内訳 [ニーズ受付] [情報提供]	90 件 112 件
ボランティア活動希望(個人)	1 件	内訳 [登録] [情報提供]	0 件 1 件
ボランティア活動希望(団体)	8 件	内訳 [登録] [情報提供]	0 件 8 件
物資提供希望	4 件		
その他	56 件		
(相談件数) 合計	271 件	内訳 [来所] [訪問] [電話]	16 件 85 件 170 件
★開設以降の (相談件数) 累計	5,843 件		

②市内での活動実績

市内での活動実績	ボランティア活動件数 9 件（延べ活動者数 13 名） お茶っこサロン協力 1 回（延べ活動人数 15 名） 職員活動（訪問等）件数 52 件（延べ職員数 53 名）
★開設以降の市内での活動実績	活動件数 787 件（延べ活動者数 995 名） お茶っこサロン協力 55 回（延べ活動人数 933 名）

③区社協に対するケース引継・情報共有

被災者の状況に応じて、随時ケース引継・情報共有を実施。新しく転入してきた世帯等に、QUO カード配付時に、地元の区社協やいきいき支援センターなどの情報も併せて提供。

④センターを通じて被災者に提供したもの及び招待事業

- ・10月 オペラ公演 ホフマン物語（名古屋二期会）…13 枚(県内全体 24 枚)

※ 名古屋市内の被災者に加え、県内被災者にも声かけ。当日は、県被災者支援センター職員が受付等対応。

- ・10月 子ども用お菓子（明治ホールディングス株式会社） ※サロン中止のため辞退
- ・12月～ QUOカード（名古屋西ロータリークラブ）…120世帯分
※ 108世帯配付（うち20世帯は訪問手交）

⑤センター運営等に関するアンケート実施

- ・QUOカードとともに、近況やセンターの運営に関するアンケートを送付。現在、名古屋での生活で悩んでいること、身近な相談先、近所づきあいや地域活動への参加、センターに望む支援、その他ロータリークラブへのメッセージなどを聞いた。
■ 108世帯に送付し、59世帯から回答あり（回収率54.6%）

⑥情報発信実績

- センターホームページでの情報発信（<http://www.nagoya-shakyo.jp/higashinohon/index.html>）
「センターからのお知らせ」及び毎月の実績等を掲載
- 「センターからのお知らせ」（被災者向け情報紙）発行実績
平成31年4月～令和2年3月＜月1回発行＞
通算12号（第107号～第118号）発行
※ 今年度から、愛知県被災者支援センター「定期便」に同封。職員1名が封入作業に参加。

⑦「お茶っこサロンなごや」の開催

被災者の交流やリフレッシュの場として、年2回「お茶っこ（東北の言葉で「お茶をする」の意味）サロンなごや」を開催予定だったが、3/20の第56回は、新型コロナウイルスの影響のため中止。企画及び運営には、「お茶っこサロンなごや実行委員会」（ボランティア）に協力いただいた。

<開催実績>

	日にち	会場	参加 世帯数	参加 人数	（参加者内訳）	
					大人	子ども
第55回	8/25(日)	星ヶ丘ボウル(千種区)	7	22	9	13
第56回	3/20(金祝)	東区在宅サービスセンター(東区)	0	0	0	0
令和元年度合計			7	22	9	13
合計（開始以来の延べ数）			606	1,431	773	658

12 地域福祉リーディングモデル事業

地域支えあい活動（※）に取り組む団体等の活動を支援する事業として、「人づくり応援（マンパワーサポート）事業」「活動資金応援（ファンドサポート）事業」「活動継続応援（アクションサポート）事業」の3事業を連動させながら実施し、人材養成から事業の企画準備・実施を支援している。

※「地域支えあい活動」とは…

一人ひとりの生活上の困りごとを解消するための助けあい・支えあい活動（事業）

（1）人づくり応援（マンパワーサポート）事業

●地域の支えあい活動者養成 基礎講座

「地域支えあい活動」に関する基本的な知識や実践例を学ぶ内容

●地域の支えあい活動者養成 実践講座

「地域支えあい活動」の実践に必要な知識や技術を学ぶ内容

	基礎講座	実践講座
開催月	9月	10～11月
回数	4回	4回
時間	13:00～16:00	10:00～12:00 13:00～16:00
受講者数	22名	20名

（2）活動資金応援（ファンドサポート）事業

①当該年度助成

●「Aコース」助成（3年間で上限30万円助成）

1年次：2団体

2年次：3団体

3年次：1団体

●「Bコース」助成（3年間で31～上限200万円助成）

1年次：1団体

2年次：3団体

3年次：3団体

②助成団体募集・決定

●Aコース（3年間で上限30万円助成）：応募数3団体（1団体取り下げ）、助成決定数3団体
面接審査（事務局審査）：令和2年1月10日（金）

団体名	事業名	事業内容
脳トレみどり	認知症カフェの立ち上げ事業	脳トレみどりが運営する認知症カフェを開設し、脳活体操体験や脳トレのメリットを紹介し体感してもらおう。
そーるきっず	0.2.1歳時の発達支援講座	親向けの赤ちゃんの発達や言葉や心の発達、子どもへの対応など各専門家から学び日常の関わりに活かす視点を養う。

団体名	事業名	事業内容
香呑町6丁目町内会	支えあうための地域力アップ行事のくふう事業	コミセンカフェやキッズルームを新設するなど、地域の人と共有し町内会意識を高める場所づくり。さらに防災活動の意味を持たせる。

●Bコース（3年間で上限200万円助成）：応募数7団体、助成決定数3団体

[1]一次審査（書類選考）

[2]二次審査（プレゼンテーション選考）：令和2年1月28日（火）

※ 地域福祉リーディングモデル事業選考等委員会による審査

団体名	事業名	事業内容
NPO法人てんぱくプレパークの会	晴れた日には学校を休んで会事業	学校との関係を考えたい人が集い、思いを語り合える場所を提供する。
丸池荘町内会	防災カフェを通じた高齢者・外国人つながり事業	高齢化や外国人世帯の急増する団地内の状況の中で防災カフェを実施し、住民同士が助け支え合える体制づくり。
名古屋みずほ防災ボランティアネットワーク	地域と連携支え合いふれあう子ども防災教育事業	学校体育館で防災を考えるゲームを通じて、大人と子どもで意見交換し全体でも発表し意見を共有。

（3）活動継続応援（アクションサポート）事業

①「地域のこども応援事業 地域福祉リーディングモデル事業 成果報告会」の開催

日時：令和元年6月1日（土）13:30～16:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7F 大会議室

内容：●第一部：成果報告会

2グループに分かれてそれぞれ報告

●第二部：情報交換会

4グループに分かれて、①広報手段（情報媒体）、②地域とのつながりや関わり

参加者：助成団体…17団体 20名（うちリーディング助成団体：8団体 9名）

受講生…3名

②「地域福祉リーディングモデル事業 学習会・交流会」の開催

新型コロナウイルスの影響のため中止

③ NPO 法人による無料個別相談の開催

随時実施 相談件数 1件

④ 助成団体の事業進捗状況把握、助言等

随時実施

(4) その他

● 地域福祉リーディングモデル事業の評価のための調査実施

- (1) 調査対象 人づくり応援事業 講座受講者 398 名
活動資金応援事業 助成団体 91 団体（事業数）
- (2) 調査時期 令和元年 8 月 23 日～9 月 17 日
- (3) 回収状況 返送数 181 通（受講者 138 通、助成団体 43 通）※回収率 37%
- (4) 調査結果 以下のとおり

【人づくり応援事業】

- 受講理由として最も多かったのが「地域での活動に興味があった」で、全体の 45.9%。
- 受講して役に立ったこととして最も多かったのが「知識」で 53.7%。続いて「スキル」が 21.4%。
- 現在の地域福祉活動への取り組み状況としては、「地域の活動に参加している（50%）」「活動を新たに立ち上げた（15.8%）」「活動に向けて準備中（4.8%）」との回答が全体の 70.5%。その一方で、「活動していない」が 27.4%。

【活動資金応援事業】

- 助成終了事業のうち、「そのまま事業を実施している」（17.1%）、「より発展した形で実施している」（22.9%）との回答が 40%であり、「規模を縮小して継続して実施している」（11.4%）、「内容を変更して実施している」（31.4%）を含めると 82.9%であった。その一方で、「休止している」「中止・終了した」が 14.3%であった。

【活動継続応援事業】

- 個別相談が 38 件、研修会は 37 回（参加人数は 430 名）の実績があった。
- 助成団体のうち「本事業の個別相談を利用した」と回答した割合は 4.7%。

(5) 今後について

- 講義形式によるプログラムは、知識やスキルの習得、モチベーションアップ、仲間づくりに関しては一定の効果は認められるが、事業の立ち上げ支援という点では方法として限界がある。この限界を鑑み、事業の立ち上げを直接の成果とするのではなく、地域をフィールドとした（先駆的・開拓的な）草の根福祉活動を支援し、市民活動の裾野を広げることを重視する。
- 本事業の助成金を得て新たな事業を実施した例や既存事業の拡充に有益であったとの声が多くあり、助成事業のうち約 8 割が、助成終了後にも何らかの形で継続している。しかし、Bコース（上限 200 万円）については、助成事業の人件費などの経費に充てられ、助成終了後、その資金確保ができず活動継続が困難になった例も見受けられるなど、市・区社協とも十分なフォロー体制を確保できない中、200 万円を投下する成果は現れにくい。それと比較し、Aコース（上限 30 万円）については、助成終了後の活動継続の視点からは適度な助成金額と思われる。
- 個別相談の利用団体が全体の 4.7%とほとんど利用されることがなく、多くの課題を残した。
- 成果をあげるキーポイントとなる、事業の継続的なフォローを強化する取り組みを検討する。

13 市・区社協ボランティアセンターの機能強化

1 区社協ボランティアコーディネーター連絡会・研修会

(1) 第1回連絡会

日 時：令和元年5月8日（水）13時30分～16時30分

場 所：名古屋市市民活動推進センター 集会室

内 容：DVD 視聴「ボランティアの渦が巻き起こる。徳島で生まれた善意銀行全国へ発信」
市社協ボラセン事業について（市・区社協ボラセン機能強化指針・平成30年度区社協訪問を踏まえた平成31年度市社協ボラセン重点事項と事業概要、各事業について）
名古屋市市民活動推進センターについて（紹介・センター内見学等）
情報交換・意見交換

（テーマ：ボランティアコーディネートに必要な情報収集・発信について） 等

参加者：15区社協15名、市社協5名

(2) 新任者研修

日 時：令和元年5月8日（水）13時～13時30分

場 所：名古屋市市民活動推進センター 集会室

内 容：ボランティアセンターの各種事務について

ボランティア登録の種別／登録ボランティア活動状況調査について など

参加者：5区社協5名、市社協1名

(3) ボランティアコーディネーター研修会

日 時：令和2年3月10日（火）13時30分～17時

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 中会議室

内 容：「社協ボランティアコーディネーターの支援力アップ」

講 師：日本ボランティアコーディネーター協会 代表理事 唐木 理恵子 氏

参加者：11区社協12名、市社協4名

2 愛知県社協主催「愛知県ボランティアコーディネーター養成講座」受講勸奨

ボランティアコーディネートを行っている職員対象に受講を勸奨（市社協にて参加費負担）。

3区社協3名が受講。

3 「市社協ボラセン通信」の発行

4月～3月まで奇数月1回（計6回）発行

4 機能強化に関連する各種指針・マニュアル等の整備と啓発

(1) 名古屋市・区社協ボランティアセンター機能強化指針（平成26年2月策定）

(2) ボランティアセンター事務マニュアル（平成30年3月発行）

(3) ボランティアコーディネーターハンドブック（平成27年3月発行）

上記いずれも「区社協ボランティアコーディネーター連絡会」等で紹介、啓発

5 区社協ボランティア担当者の役割整理

平成30年度に実施した、区社協訪問による聞き取り調査で把握した現状や課題から、ボランティア担当者の役割整理の必要性が出たため、ボランティアセンター内で検討し、役割の整理を行った。まとめたものは、3月の事務局長会で提示し、ボランティアコーディネーター研修会でも改めて説明した。また、担当者によるボランティアコーディネートのチェック表を、業務振り返りに使ってもらうため、作成・配付した。

14 他機関との連携・協力、ボランティア活動に関する調査・研究

1 名古屋市市民活動推進センターとの連携・協力

- *ぼらマッチ！なごや
- *ボランティア入門講座

2 他機関・団体等への講師派遣の状況

(参加者数は概算)

期 日	事業名	講義内容など	対象者	参加者数(人)	主 催
R元.6.27	高年大学専門講座	ボランティア体験報告会	高年大学 福祉学科学生	25	名古屋市高年大学
R元.10.5	災害ボランティアコーディネーター養成講座	社協と災害ボランティアコーディネーターとの関わり	市民	40	名古屋市市民経済局
R元.10.25	精神保健福祉市民活動セミナー	地域の社会資源を知る～社会福祉協議会の役割～	市民	30	名古屋市精神保健福祉センター
R元.12.15	災害ボランティアコーディネーター養成講座	社協と災害ボランティアコーディネーターとの関わり	市民	30	名古屋市市民経済局

3 他機関・団体の外部委員等への就任状況

No.	委 員	期 間	職 員
1	市民活動の推進にかかる懇談会 (旧：名古屋市市民活動推進協議会)	平成24年10月～	部長
2	市町村社協災害対応支援部会 (旧：災害救援ボランティアセンター部会)	平成19年～	次長
3	「なごやのボランティア史(仮称)」編纂委員会	平成28年～	部長(～29年度) 担当職員

4 全国会議・ブロック会議等への参加状況

会 議 名	開催年月	場 所
都道府県・指定都市社協地域福祉推進担当部・課・所長会議	平成31年4月	東京都
第4回災害時の連携を考える全国フォーラム	令和元年5月	東京都
東海北陸ブロック県・指定都市社協地域福祉担当部課所長会議	令和元年7月	石川県
2019年度災害ボランティアセンター運営者研修	令和元年10月	東京都
令和元年度全国福祉教育推進員研修	令和元年10月	東京都
県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者会議	令和2年1月	東京都

◆ボランティアセンターのあゆみ

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 (ボランティアビューロー)	登録人数 (人)	関連事項
26	市社協設立		(統計なし)	社会福祉事業法公布
48	奉仕銀行開設（後にボランティアビューロー⇒ボランティアセンター）		(統計なし)	オイルショック
55	ボランティアビューローに改称	社会福祉協力校事業 (守山でスタート)	(統計なし)	
56	福祉読本の発行開始		(統計なし)	国際障害者年
57	ボランティアセンターに改称 名古屋市子ども会ボランティア研修会助成開始		1,922	市総合社会福祉会館 オープン 名古屋市福祉基金事業（助成）開始
58	社会福祉協力校事業開始（全市展開） ボランティア手帳の配布開始 愛知県ボランティア集会の開催（県社協と共催）		2,134	
59	ボランティア情報紙発刊 ボランティア保険料一部補助制度開始 里親ボランティア事業開始	区社協ボランティア ビューロー開設	5,855	日本人の平均寿命 男女とも世界 1 に
60	地域ボランティア養成講座（63年度まで）		7,044	
61	おもちゃ図書館「ともだち」開館	名東区ボランティア 連絡会設立	8,542	
62		サマーボランティア スクール（東区で スタート）	9,220	社会福祉士・介護 福祉士法公布
63	名古屋市おもちゃ図書館連絡会の結成	中村区ボランティア 連絡協議会設立	10,640	マル優制度原則廃止
平成 元	社会福祉活動実践校事業開始	南区ボランティア 連絡協議会設立	11,888	
2	ほっとはあとキャンプ開始 第1回愛知県ボランティア大会（県社協と共催）		13,619	
3	第1回名古屋市ボランティア集会開催		14,912	ソビエト連邦解体
4	冊子「今日からあなたもボランティア」送付開始 第2回名古屋市ボランティア集会開催		17,026	社協新基本要項策定

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアビューロー）	登録人数 （人）	関連事項
5	企業の社会貢献フォーラム開催（7年度まで） ノート型点訳パソコン貸出事業開始 第3回名古屋市ボランティア集会開催		19,051	厚生省告示第117号中社審意見申 ふれあいネットワーク21基本構想策定
6	ゆめびっくボランティアの募集 阪神・淡路大震災支援ボランティアの登録 企業の社会貢献調査の実施・報告書発行 企業ボランティア活動の手引き発行 愛知県ボランティア大会（県社協と共催）	昭和区ボランティア 連絡協議会設立	20,297	阪神・淡路大震災 ゆめびっくあいち 開催 名古屋市地域福祉推 進計画策定
7	区社協ボランティアビューロー活性化事業開始 第4回名古屋市ボランティア集会開催 初心者向けパンフレットの作成	西区福祉ボランティ ア連絡協議会設立	22,375	ボランティア国庫補助開始
8	登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 企業社会貢献実態調査（追跡調査） 第5回名古屋ボランティア集会開催 リーダーボラ研修会開催 名古屋市点訳ボランティア連絡会結成準備 重油流出事故支援ボランティア活動情報の提供	ふれあいねっと天白 設立（ボラ等連協） 守山区ボランティア 連絡協議会設立	28,602	ナホトカ号重油流出 事故
9	ボランティアアドバイザー（中央郵便局ボランティア相談員） 研修の開催 ボランティア（市民活動）支援システム構築に関する 基本構想書の作成 第6回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ゆうあいピックボランティアの募集		31,888	NPO法成立 介護保険法成立 ゆうあいピック愛知 ・名古屋開催 市民フォーラム21 ・NPO支援センタ ー設立 児童福祉法等の一部 改正
10	第3回愛知県ボランティアフェスティバル（県社協と共催） シャチボラ連続学習会開催 名古屋点訳ネットワークの結成 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ねんりんピックボランティアの募集		32,834	
11	高校生介護体験特別事業開催 高齢者疑似体験インストラクター研修会 盲導犬歩行体験インストラクター研修会 福祉教育資材貸出 第7回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ボランティア情報ネットワークシステム導入	緑区ボランティア 連絡協議会設立 守山区、千種区ボラ ンティアセンター設 置	35,235	
12	第8回名古屋市ボランティア集会開催 環境デーなごやへの協力 ガイドネットワークなごやの結成 シーンボイスガイド実行委員会 第4回国際福祉健康産業展〜ウェルフェア2000〜 への出展 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新	中村区、南区、瑞穂 区ボランティアセン ター設置	35,912	介護保険制度開始 社会福祉法施行 東海豪雨災害

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協（ボランティアセンター）	登録人数（人）	関連事項
13	勤労者マルチライフ支援事業受託(15年度まで) ボランティア団体、NPO研修 ボランティアコーディネーター研修会 第9回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+ボランティア更新 情報ネットワークシステム操作説明会 シーンボイスガイド養成講座	中区、昭和区、港区、 熱田区ボランティア センター設置 東区ボランティア連 絡協議会設立	71,305	新・名古屋市地域福 祉推進計画策定 創立50周年社協全 国会議開催 ボランティア国際年 全社協第2次ボラン ティア・市民活動推 進5ヵ年プラン策定
14	盲導犬歩行体験イストラクターフォローアップ研修 第4回あいちボランティアフェスティバル（県社協と共催） 子育てフェスタ in あいち NPOアワード	千種区、中区、港区 ボランティア連絡協 議会設立	69,302	なごやボランティ ア・NPOセンター 設置 身体障害者補助犬法 施行
15	第10回名古屋市ボランティア集会開催 区ボランティア連絡協議会代表者懇談会・役員 研修会開催 福祉教育推進にかかる検討会設置 市社協ボランティアセンター運営指針作成 ボランティア体験学習事業助成の開始		81,080	支援費制度開始
16	平成16年度なごや福祉教育セミナー開催 「福井豪雨水害」「新潟県中越地震」への職員・ ボランティアの派遣 市社協防災マニュアルの作成 ボランティア・NPOフェスタ2005開催	ボランティアセンタ ーに名称を統一 各区社協地域福祉活 動計画策定	63,380	福井豪雨水害 新潟中越地震
17	平成17年度なごや福祉教育セミナー開催 ボランティア・NPOフェスタ2006開催 名古屋市ボランティア連絡協議会設立 メールマガジン「なごメール」配信開始	熱田区ボランティ ア 連絡協議会設立	67,475	愛知万博開催
18	第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや名古屋ブロック実行委員会設立 平成18年度なごや福祉教育セミナー開催 全国ボランティアフェスティバルあいち・なご や 名古屋ブロックプレフェスティバル開催 福祉学習サポーター養成研修開催（～20） 「能登半島地震」への職員の派遣（～H19.5）		69,908	第3次市社協地域福 祉推進計画策定 能登半島地震
19	第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや開催 IAVEアジア太平洋地域ボランティア会議開 催 ふれあい名古屋リニューアル発行（「ほっとはあ と」と合併発行）		71,923	全社協第3次ボラン ティア・市民活動推 進5ヵ年プラン策定 新潟県中越沖地震

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアセンター）	登録人数 （人）	関連事項
20	名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業受託実施 名古屋市災害ボランティアセンター設置 地域協働子育てフォーラム開催 ボランティア・NPOフェスタなごや2009開催	各区社協第2次地域福祉活動計画策定	73,072	平成20年8月末豪雨災害
21	第16回日本福祉教育ボランティア学習学会あいち・なごや大会開催 ボランティア・NPOフェスタなごや2010開催 新・登録ボランティア情報管理システム導入		76,718	
22	地域福祉リーディングモデル事業 人づくり応援事業 人づくり応援事業形態変更・活動資金応援事業助成金額等変更 ボランティア・NPOフェスタなごや2011開催		81,904	東日本大震災
23	「東日本大震災」への職員の派遣（～H23.11） 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営（受託実施 23.4～） 岩手県大槌町ボランティアバスの運行（4便） 三重県紀宝町ボランティアバスの運行（5便） ボランティア・NPOフェスタなごや2012開催 福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや開催（以降毎年継続実施）		87,004	名古屋市市民活動推進センター開設 平成23年9月 台風12号 平成23年9月 台風15号
24	地域福祉リーディングモデル事業 人づくり応援事業 市社協運営へ移行 ぼらチャリの実施（～27まで実施） 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド」の発行		89,632	
25	名古屋市傾聴ボランティアの会の組織化 「名古屋市・区社協ボランティアセンター機能強化指針」の策定 「福祉教育実践ポイントガイドブック」の作成	各区社協第3次地域福祉活動計画策定	93,253	7月18日までの大雨被害 7月22日大雨被害 7月28日大雨被害 台風18号 2月14日～15日大雪災害
26	大槌町復興支援ボランティアバス実施 「ボランティアセンター事務マニュアル」改訂 「ボランティアコーディネーターハンドブック」の発行		89,537	台風8号 台風12号による大雨 台風11号 8月15日からの大雨 8月19日からの大雨 なごやか地域福祉2015策定
27	福祉学習サポーター養成研修開催（28以降継続） なごやボランティア楽集会の実施（28以降継続） ぼらマッチなごや！の主催に参画 ガイドネットワークなごや15周年		111,536	本会第2次経営戦略計画策定 市区町村社協ボランティア・市民活動センター強化方策2015策定
28	「熊本地震」への職員の派遣 おもちゃ図書館ともだち30周年 名古屋市ボランティア連絡協議会10周年 なごやのボランティア史編纂委員会へ参画 市民セクター対応協議会へ参画（29以降継続）		96,954	熊本地震 台風10号 鳥取県中部地震 新潟県糸魚川市大規模火災

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアセンター）	登録人数 （人）	関連事項
29	市・区社協ボランティアセンター機能質の評価調査実施 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド追加補足版」の作成協力 「学校・地域で育む「ともに生きる力」～福祉学習サポーターと区社協が協同した福祉教育実践事例集」の作成		90,790	九州北部豪雨災害 秋田県豪雨災害 台風18号災害 台風21号災害
30	区社会福祉協議会ボランティアセンター現状把握（訪問調査） 「平成30年7月豪雨」への職員の派遣 第24回日本福祉教育ボランティア学習学会あいち・なごや大会開催 市おもちゃ図書館連絡会30周年記念事業	各区第4次地域福祉活動計画策定	89,156	大阪府北部地震 平成30年7月豪雨 北海道胆振東部地震
31 令和 元	「台風19号災害（栃木市）」への職員の派遣 名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド（タイムライン版）の作成		85,106	山形県沖地震 6月29日からの大雨 8月27日からの大雨 台風19号災害

所管事業名称等一覧表 (相談・需給調整部分および庶務・経理事務は除く)

事業名	開始年度
市社協ボランティアセンターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動相談・情報提供 ・ボランティア登録制度の運用・情報管理 ・活動拠点・資器材の提供 ・ボランティア活動保険・行事用保険の受付 	昭和55年度～(ボランティアビューロー) 昭和57年11月～(ボランティアセンター)
ボランティア顕彰 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市民間社会福祉事業功労者表彰への推薦 ・愛知県ボランティア活動功労者表彰への推薦 ・ボランティア功労者にかかる厚生労働大臣表彰への推薦 	昭和53年度～ 昭和55年度～ 昭和57年度～
福祉教育・ボランティア学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉読本「ともに生きる」の発行 ・社会福祉協力校 ・福祉体験学習資材の貸出し ・疑似体験インストラクターの養成・管理 ・福祉学習サポーター養成講座 ・日本福祉教育・ボランティア学習学会の共催(臨) ・福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや共催 	昭和57年度～ 昭和58～平成23年度 昭和62年度～ 平成11年度～ 平成18～20年度、27年度～ 平成21年度 平成23年度～
ボランティア活動情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・市社協情報紙「ふれあい名古屋」内「ほっとはあとコーナー」編集(旧・ボランティア情報紙「ほっとはあと」発行) ・メールマガジン「なごメール」の配信 ・市社協ボランティアセンターホームページ開設 ・市・区社協登録ボランティア団体情報検索システム「なごやボラねっと」運営 ・なごや福祉ボランティア募集情報 	昭和59年度～ 平成17～25年度 平成21～25年度 平成21年度～ 平成27年度～
家庭体験事業(旧：里親ボランティア事業)	昭和59年度～ ※平成30年度～施設ラインへ移管
ボランティアネットワーク組織の事務局 <ul style="list-style-type: none"> ・市おもちゃ図書館連絡会(おもちゃ図書館ともだちの運営) ・名古屋点訳ネットワーク(NBN) ・ガイドネットワークなごや ・市ボランティア連絡協議会 ・名古屋市傾聴ボランティアの会 	昭和63年度～ 平成10年度～ 平成12年度～ 平成17年度～ 平成26年度～
ボランティア・NPOフェスタ(名古屋市ボランティア集会) <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市ボランティア集会 ・ボランティア・NPOフェスタ ・第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや ・ボランティア・NPOフェスタなごや 	平成 3～15年度 平成16～17年度 平成19年度(18年度にプレ開催) 平成20～23年度
独立行政法人福祉医療機構地域活動助成(福祉医療機構地方分助成事務受託)	平成9～21年度
災害ボランティア活動の推進	平成16年度～
地域福祉リーディングモデル事業	平成17年度～
東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営(委託業務)	平成23年度～
名古屋市市民活動推進センター(平成24年度開所)との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼらチャリ ・ボランティア入門講座 ・ぼらマッチ!なごや 	平成24～27年度 平成26年度～ 平成27年度～
なごやボランティア楽集会	平成27年度～